

インド～ノルウェー～フランスと巡ってきた「シリーズ世界の音」、今回は私たちの日本から高橋竹童さんの津軽三味線をご紹介します。

ときに激しく、ときに聴く人の気持ちによりそのような情感あふれる音色。胡弓、沖縄三線をうい私たちのDNAを揺り動かす音楽性。その表情の豊かさは、生で聴いてこそ感じていただけるものでしょう。日本の良さを再発見しつつ、明日への希望の光をこころにお届けする演奏会です。

ーくにたち市民芸術小ホール

三味線・胡弓・三線 | 高橋竹童
(たかはし・ちくどう)



昭和45年、新潟県西蒲原郡月潟村(現新潟市南区)に生まれる。昭和54年、父親の影響で9歳より津軽三味線を始め、初代高橋竹山の直弟子である高橋竹栄に師事。早くからその素質を開花させ、翌年には新潟市音楽文化会館にて初舞台を踏む。

平成元年、19歳で津軽三味線の大家・初代高橋竹山に師事。初代・竹山の最後の内弟子となり、師・竹山の全国公演にも同行し、演奏する。平成2年、20歳で胡弓を長谷川清二(富山県八尾町)に師事、翌年より胡弓弾きとして「風の盆」に参加する。また琉球三線フェスティバルへの出演を機に沖縄音楽に触れ、三線を照屋勝武(沖縄県石川市)に師事した。平成6年、24歳で独立。ソロ活動を開始。

2006年(平成18)音楽ユニット【Trinity】を結成。[メンバー/高橋竹童(津軽三味線・胡弓他)、丸田美紀(箏・二十弦)、和田啓(打楽器・作曲・演出)]

2009年(平成21)6月20日に【Trinity】としての初アルバム【Trinity 高橋竹童】をリリース。ソロ活動と同時に【Trinity】としてもライブハウスを始め全国で活躍中。

同年2009年10月 歌舞伎役者 中村勘太郎・中村七之助 兄弟、和太鼓奏者 林英哲と共に、錦秋特別公演【芯】に出演。全国9か所にて公演。日本を代表する伝統芸能のコラボレーションに好評を得る。

竹山譲りの豊かな音楽性を継承するとともに、胡弓や三線をも取り入れた奥行きある演奏の深い叙情性に定評があり、豪快な音締めと軽妙洒落な舞台運びでオリジナルなスタイルを創出している。また大衆演劇や落語等の芸能文化への造詣も深く、そのアーティストとして活動域はジャンルを超えて一層の広がりを見せており、さらなる注目と期待を集めている。

民謡 | 小山みつな (おやま・みつな)

神奈川県湯河原生まれ。

「フジTVキンカン民謡大会」「テイチクレコード民謡コンクール」「コロナビア全国民謡コンクール」優勝、「郷土民謡協会全国大会」総合優勝&内閣総理大臣杯受賞、「津楽五大民謡大会～あいや節、津軽三下り部門」で優勝、準優勝などを成し、プロへの登竜門であるNHK邦楽オーディションに初出場にて合格。

津軽三味線の名門小山流～家元 小山貢氏、津軽&南部民謡名人 山本謙司氏に師事。

2008年秋、国際交流基金などの主催による「モスクワ～日本文化週間」においてロシアで公演。2010年6月、上海万博の日本館において公演。12月には日本の観光庁主催による台湾花博ステージで公演。

現在、NHKや様々なイベント等で若手民謡歌手として幅広く活躍中。



尺八 | 佃 康史 (つくだ・こうし)

幼少の頃より、尺八奏者であり父でもある、佃一生に師事。自身の活動も始め、津軽三味線第一人者「高橋祐次郎」率いる、「津軽楽奏団 "KAZE"」へ参加。様々なジャンルのミュージシャンとセッションをしながら活動の幅を広げ、全国各地を公演。NHKなどにも多数出演する。

海外公演にも力を入れ、10カ国、20都市以上を訪問。現在、「KAZE」や、「和楽アンサンブル」、琴・三味線・和太鼓とのユニット「山紫水明」、「民族楽団 チャンチキ」のメンバーとして活動中。



◆ 会場 くにたち市民芸術小ホール 〒186-0003 国立市富士見台 2-48-1 Tel 042-574-1515
E-mail : kugeisyo@chive.ocn.ne.jp

- JR中央線国立駅南口バス乗場：4番
立川バス矢川駅、国立操車場又は都宮泉団地行き
『市民芸術小ホール・総合体育館前』下車徒歩1分
- JR南武線矢川駅から徒歩10分
- JR南武線谷保駅から徒歩10分
- 駐車場は国立市役所駐車場をご利用ください。
台数に限りがあります。なるべく公共の交通機関でお越しください。



◆ チケット取り扱い 芸術小ホール窓口 042-574-1515 (株)しまだ文具 042-576-4445 青木屋国立店 042-577-9988
白十字国立南口店 042-572-0416 白十字国立北口店 042-575-4568 国立楽器 042-573-1111